

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和6年11月11日(月)
クラス名(年齢)	もも組(4歳児)
年間テーマ	音の探究活動

1、活動テーマ

<テーマ>

これってどんな音がするんだろう？

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・子どもから「先生、この本の音聞いて」と本を閉じる音を聞かせに来て他の子ども達も興味を持ち始める。

2、活動スケジュール

・前は保育室にある物に輪ゴムを付けて鳴らしたらどんな音が出るかを試したので、今回は保育室にある物自体を使ってどんな音が出るかを試してみる。

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)




・クレヨン、のりのケース、連絡帳、シルバニアファミリーのハウスなど子ども達の目に入り手に取りやすいように用意する。

4、探究活動の実践

<活動内容>

・鳴らしてみたい物を探す。
 ・実際に叩いたり、はじいたり揺らして音を出してみる。
 ・グループごとに見つけた音を発表し同じ物でも鳴らし方によって違う音色になることに気付き興味を持つ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・一人の子どもが「先生、みて」と本を閉じるときに「ぱたっ」となる音に気が付き保育者に知らせる。</p> <p>・みんなの前でその音を披露してもらおうと他の子ども達も「他にどんな物で音がするか探してみようよ」と言葉が上がる</p> <p>・保育室の中にある物でどんな音が出るか試しながら探す。</p> <p>・テープ、スズランテープ、連絡帳の入った箱、シルバニアファミリーのハウスなど様々な物を見つける。</p> <p>・それぞれ音を発表すると「なんかさっきのと同じ音に聞こえる」と違う物でも音の出し方によって似た音が出ることに気が付く。</p>	  

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・一人の子どもの気づきからみんなも音を探してみようと発展していき、見つけた音を発表しあう中で同じ物でも力の加減や鳴らし方によって音が変わることに子ども達で気が付き、その鳴らし方を真似してやってみるなど自発的に考えている姿が見られた。また、以前は使わなかった物にも目を向けて試してみよう様子も見られ、探求心が深まっている様子がうかがえた。